

平成27年 8 月 20 日

各 位

会 社 名 カルナバイオサイエンス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 吉野 公一郎  
(コード番号：4572)  
問 合 せ 先 経 営 管 理 本 部 長 吉 野 公 一 郎  
(TEL：078-302-7075)

## 神戸大学との共同研究契約締結のお知らせ

当社は、国立大学法人神戸大学（学長：武田 廣、所在地：神戸市灘区、以下「神戸大学」という）連携創造本部と、構造科学的プラットフォームを利用した新しい医薬品設計手法の開発を目的とした共同研究契約（以下「本共同研究契約」という）を、8月1日付けで締結しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 本共同研究契約の概要

当社は、キナーゼを標的とした低分子の分子標的薬の創製を目指して、がんや免疫炎症疾患等のアンメット・メディカルニーズが高い疾患を中心とした新規性の高い薬剤の研究開発を行っております。このキナーゼ阻害薬の研究開発においては、特定のキナーゼを効果的に阻害するシード化合物を初めに見出すことが重要ですが、従来の手法では数万から数百万に及ぶ化合物ライブラリーを用いてハイスループットスクリーニング（HTS）を実施するなど、労力を必要とする作業が中心でした。

当社は、平成24年より、神戸大学と、2つの異なるキナーゼを効率良く阻害する低分子化合物の創出を目指した新しい構造科学に基づく先端的創薬技術の共同研究を実施し、一定の成果を得ることができました。今回、新たに神戸大学 連携創造本部 応用構造科学産学連携推進センター 副センター長・鶴田宏樹准教授が培ってきた構造科学的プラットフォーム（X線結晶解析、X線小角溶液散乱、高速シミュレーションなど）に関するノウハウを利用して、医薬品の創製の出発点となりうるシード化合物を合理的かつ効率的に創出する新しい手法の確立を目指します。本共同研究の成果として、当該手法が確立された場合、創薬の初期段階においてHTS等に有する期間が飛躍的に短縮されることが期待されます。

#### 2. 共同研究の期間

本共同研究契約の締結から3年間

#### 3. 今後の業績に与える影響について

本共同研究契約の締結が、当社グループの連結業績に与える影響は軽微であります。

以 上

(ご参考)

神戸大学の概要

- (1) 名 称： 国立大学法人神戸大学
- (2) 学 長： 武田 廣
- (3) 所 在 地： 神戸市灘区六甲台町1-1
- (4) WEB サ イ ト： <http://www.kobe-u.ac.jp/>

<用語解説>

(注1) シード化合物

創薬の標的分子を決定したあと、創薬化学によって化合物の合成を進めていきますが、この最初の出発点になる化合物のことをシード（種）化合物と呼びます。通常は、数万から数百万に及ぶ化合物ライブラリーを用いて、標的分子の機能を阻害する化合物をスクリーニングし、シード化合物の探索を行います。

(注2) ハイスループットスクリーニング

ハイスループットとは、高効率という意味で、スクリーニングとは、医薬品研究において、多くの評価対象物の中から、主に機械を用いて、特定の性質を有するものだけを選び出すことを指します。当社が行っている低分子医薬品の研究段階においては、多くの化合物の中から、特定のキナーゼ蛋白質と結合し、活性を阻害するものを抽出する工程を指します。